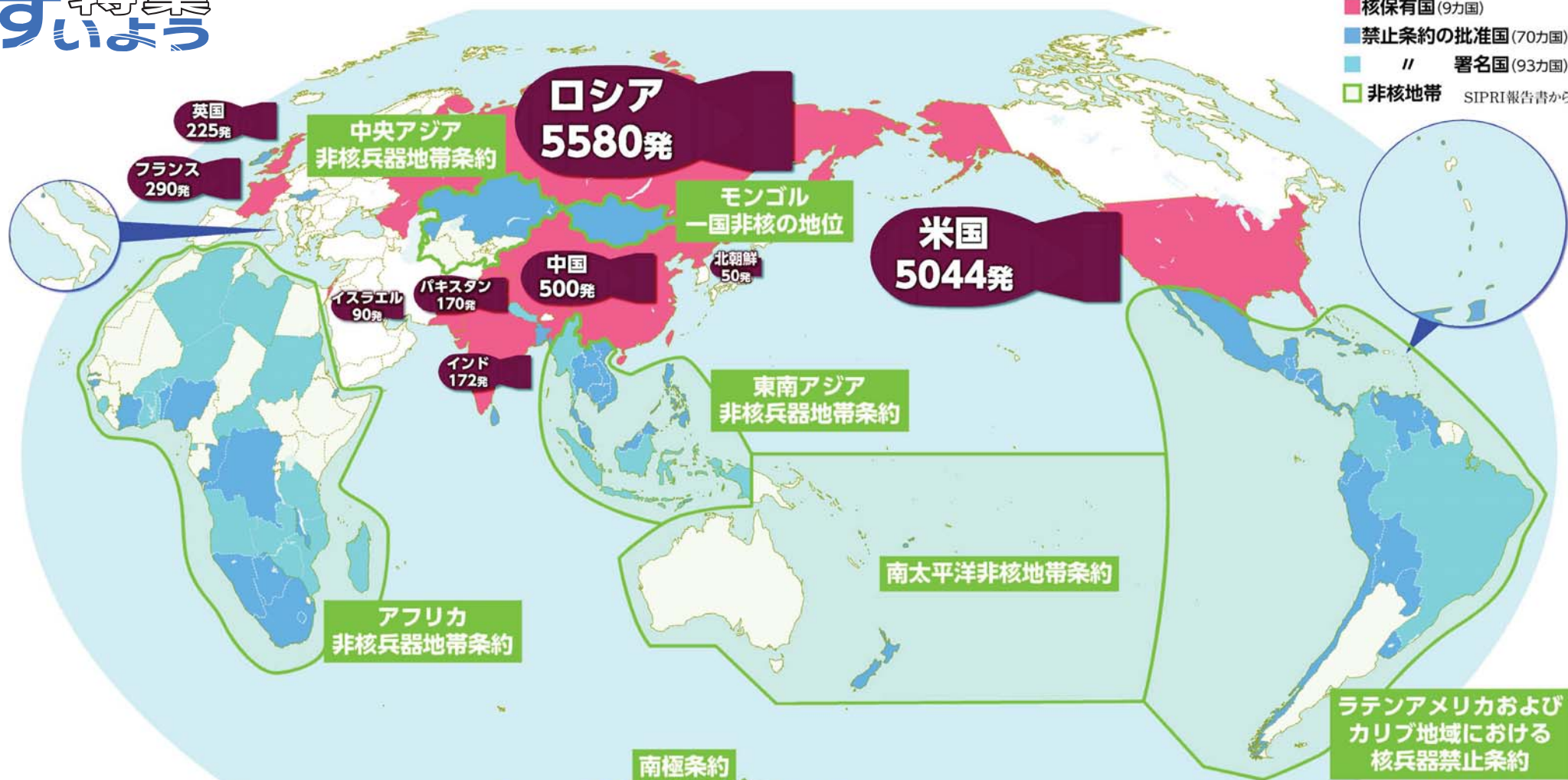




核兵器 1万2121発

核保有9カ国が核兵器関連に使った金額(2023年)



合計で914億ドル!
=14兆3498億円

1秒間に2898ドル!=45万4986円

(1ドル=157円で換算)

(核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)の報告書から作成)

原爆投下79年

広島、長崎への原爆投下から間もなく79年を迎えます。スウェーデンのストックホルム国際平和研究所(SIPRI)によると、米国やロシアなど核保有9カ国が2024年1月の時点で保有する核弾頭数は1万2121発に上ります。

核弾頭を最も多く保有しているのはロシアで、2番目は米国です。米ロ両国で保有数の約9割を占めます。9カ国の保有核弾頭のうち約2100発は、数分以内に発射可能な「高度警戒態勢」に置かれています。

国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)によると、9カ国が2023年に核兵器の開発や維持に支出した金額は約14兆円です。

ロシアによる核使用の威嚇、保有国が競って進める核兵器の近代化・増強計画などで「核兵器による絶滅の危険はさらに大々くなっている」(グラフ)

ロシアによる核使用の威嚇、保有国が競って進める核兵器の近代化・増強計画などで「核兵器による絶滅の危険はさらに大々くなっている」(グラフ)

ロシアによる核使用の威嚇、保有国が競って進める核兵器の近代化・増強計画などで「核兵器による絶滅の危険はさらに大々くなっている」(グラフ)

米国の州でも禁止条約支持

ラデルフィアなどでも禁止条約に賛同する決議が採択されています。

背景に、近年の市民運動「瀬戸際から引き返せ」があります。核廃絶の要求を掲げ、各議会に働き掛けてきました。ロードアイランド州ではバックス・クリスティが、議員事務所や州議会の前で禁止条約批准などを求めるデモを毎週実施してきました。

ウクライナを侵略するロシ

アやパレスチナのガザ地区に軍事侵攻を続けるイスラエルが核使用をちらつかせている危機的状況も、決議採択の賛同を広げた要因の一つです。

バックス・クリスティのニュースによると、同州のメンバー、ウィリアム・スミスさんは「今度は連邦レベルでの指導力をみるときだ」と、政府に圧力をかけていく決意を示しました。

(ワシントン=柴田菜央)

レイアウト 塚越あゆみ



核兵器禁止条約発効3周年にあたり、ニューヨークにある米国の国連代表部前で条約参加を訴える人たち(7月22日、ニューヨーク=島田峰隆撮影)

米国では地方議会で、連邦政府に核兵器禁止条約を支持するよう求める決議が採択されています。6月6日、ロードアイランド州議会下院で決議が上がりました(上院は2年前に可決)。連邦政府に▽禁止条約への署名・批准▽核軍縮を国の安全保障政策の最重要項目に据えること▽核戦争を防ぐための世界的な取り組みの先頭に立つことなどを求めています。

カトリック平和団体「パッ

クス・クリスティ」のニュースによると、決議案提出者の筆頭、スーザン・ドンバン議員は「米国が戦争で一般市民を滅ぼす以外に何の役にも立たない兵器に依存する国ではないか」という意見では、ほとんどの人が一致できる」と述べました。

これまでに同様の決議が採択された州は、カリフォルニア、メイン、ニュージャージー、オレゴン。このほか首都ワシントン、ボストン、フィ